

## 9 環境への取組

関連予算の執行額

(単位：千円)

会計 区分	予算科目			予算執行額
	款	項	目	
一般	02総務費	01総務管理費	08財産管理費	1,323,315
一般	04衛生費	01公衆衛生費	05保健製薬環境センター費	22,730
一般	04衛生費	02環境衛生費	03環境衛生指導費	1,464,653
一般	04衛生費	02環境衛生費	04公害対策費	182,281
一般	06農林水産業費	05林業費	04造林費	※ 1,441,428

### 1 総合的な環境施策の推進

#### 1 「環境首都とくしま」の実現に向けた総合的な環境施策の推進（環境首都課）

##### 1(1) 環境施策の総合的推進

平成11年3月に制定した徳島県環境基本条例及び平成25年12月に策定した平成26年度以降の県の環境施策の指針となる「第2次徳島県環境基本計画」に基づき、環境施策の総合的・計画的な推進を図った。

##### 1(2) 環境首都とくしまづくりの推進

「第2次徳島県環境基本計画」の方向性の一つである「ライフスタイルの転換」の推進に向けた、新たな行動指針「環境首都とくしま・未来創造憲章」を制定し、県民への普及・浸透を図るため、各種メディア、イベント等を通じたPRやリーフレットの配布、パネル展示、研修等での周知広報に努めた。

##### 1(3) 環境首都とくしま創造センターの運営

「環境活動の支援」、「環境学習の推進」、「地球温暖化防止活動の推進」の3つの機能を持つ環境に関する支援拠点である「環境首都とくしま創造センター」において、NPO法人やとくしま環境県民会議と連携協力し、産学民官が一体となった取組を展開した。

#### 2 「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」の推進（管財課、環境首都課自然エネルギー推進室）

##### 2(1) 「自然エネルギー発電施設」の誘致促進

「エネルギーの地産地消」を推進していくため、全国屈指の補助制度や低利融資制度を活用し、自然エネルギー導入に積極的に取り組む民間事業者を支援することにより、太陽光、風力、小水力による自然エネルギー発電施設の誘致を推進した。

## 2(2) 事業所への「自然エネルギー」の導入促進

太陽光発電，LED照明，リチウムイオン蓄電池など，自然エネルギー設備のための低利融資制度により，工場や事業所などにおける自然エネルギーの導入を促進した。

## 2(3) 公共施設への太陽光発電設備や蓄電池等の設置

災害時に地域の防災拠点や避難所となる県内公共施設について，停電時でも防災拠点機能や避難住民等の生活が継続できるよう，太陽光などの自然エネルギー発電設備，蓄電池等の設置を行った。

## 2(4) 漁港施設における低炭素化事業計画の策定

県内の漁港に対して省エネ設備や自然エネルギーの導入可能性調査を実施し，「低炭素化事業計画」を策定した。

## 2(5) 水素グリッド構想の策定

産学官の関係者からなる「徳島県水素グリッド導入連絡協議会」を設立し，県内における燃料電池自動車や水素ステーションの普及目標，目標達成に向けた施策展開を示した「徳島県水素グリッド構想」の中間報告を取りまとめた。

## 2(6) 電気自動車の導入促進と災害対応モデルの構築

電気自動車（EV）の普及拡大を進めるため，県有施設に新たに2基の急速充電器を設置し，県南地域における空白地帯の解消を図るとともに，EVの充電と電力供給の双方向装置である「V2H」を県庁舎に設置し，災害時の電力供給や避難所等へ電気を届けるモデルケースを構築した。

## 2(7) 本庁舎等照明LED化促進事業

「スマートエネルギーのモデルケース」のひとつとして，本庁舎において，24時間点灯している避難誘導灯及び非常用照明のLED化を実施するとともに，非常用照明には調光システムを導入することで，省エネ・省CO2を実現した。

## **3 徳島県環境マネジメントシステムの推進（環境首都課）**

### 3(1) 環境マネジメントシステムの推進

「環境首都とくしま・県マネジメントシステム」により，「オフィス活動」における環境配慮を推進する県率先行動計画の着実な実施に向けた取組などを行った。

### 3(2) エコオフィスとくしま・県率先行動計画の推進

県率先行動計画（第4次）に基づき，全庁で用紙類使用量や電気使用量などの節減に取り組み，県の事務・事業における環境負荷の低減に努めた。

また，これまでの取組状況を踏まえ，平成27年3月に「エコオフィスとくしま・県率先行動計画（第5次）」を策定した。

### 3(3) グリーン調達の推進

グリーン購入法に基づく国等の取組に準拠して、徳島県グリーン調達等推進方針を改定するとともに、効果的なグリーン購入の推進に努めた。

## 4 環境影響評価の推進（環境管理課）

### 4(1) 環境影響評価制度の推進

ア 風力発電事業等各種開発事業に係る環境影響評価の指導及び環境影響評価に必要な資料の提供等を行った。

イ 徳島県環境影響評価条例関係例規集及びパンフレット並びにインターネットを活用し、徳島県環境影響評価条例の周知に努めた。

ウ 事業計画段階で行う戦略的アセスメント（配慮書）の導入や、風力発電の対象事業化、放射線量を環境影響評価の項目とすることなど、徳島県環境影響評価条例、規則の改正を行った。

## 5 環境教育・学習・実践活動の推進（環境首都課，南部総合県民局）

### 5(1) 環境学習等の推進

「徳島県環境学習推進方針」に基づき、地域の特性を踏まえた環境学習の全県レベルでの実践を促進するため、実践モデル事業への支援や環境学習プログラムの普及を図った。

また、次世代の環境人材の育成を図るとともに、とくしま環境県民会議と連携し、県民や事業者などが自発的に実施する環境に関する講演会・学習会・地域活動などに、環境の専門家（環境アドバイザー）を講師・助言者として派遣した。

### 5(2) みんなで飛躍環づくり事業

地域の環境課題の解決のため「みなみから届ける環づくり会議」で実施している活動に対して、講師の派遣に要する費用の支援を実施し、産学民官の協働による環境教育の実践や放置竹林対策等南部圏域の環境保全活動の推進に努めた。

## 6 環境情報の整備・提供の推進（環境首都課）

### 6(1) 環境情報の提供・発信

各種イベント等での啓発などにより、複雑・多様化する環境問題について、県民一人ひとりが考え行動する機会を提供するとともに、「とくしまの環境」及び「とくしま環境首都学校」等、ホームページの継続的更新による環境情報の提供、発信を行った。

また、「徳島県環境白書」の概要版及び動画を作成し、県民に分かりやすい情報提供を行った。

## 7 調査研究の充実（保健製薬環境センター）

### 7(1) 保健製薬環境センターによる調査研究

保健製薬環境センターにおいて、大気中の温室効果ガスの実態調査、公共用水域に排出される化学物質の実態調査などについて調査研究を行った。

## 2 地球環境の保全

### 1 地球温暖化対策の推進（環境首都課，林業戦略課，南部総合県民局）

#### 1(1) 地球温暖化対策の総合的推進

地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するため，平成23年8月に「徳島県地球温暖化対策推進計画」を策定し，温室効果ガス排出量の削減目標を定めるとともに，目標達成に向けた「重点プログラム」の推進に取り組んだ。

また，平成26年度をもって現行の「重点プログラム」が終了することから，県環境審議会に諮問を行い，環境政策部会において改定案に向けた審議を行った。

#### 1(2) 実践的な産学民官の協働活動の推進

とくしま環境県民会議では，自然エネルギーの動向と地域活性化を紹介するフォーラムの開催，自然エネルギー及び省エネルギーの普及啓発を行った。

また，カーボン・オフセットについて，関西広域連合広域環境保全局に設置された「クレジット調査検討作業チーム」のリーダー県として構成府県市の意見を集約し，広域的なクレジット制度の構築に向けた検討を進めた。

#### 1(3) 地球にやさしい環境県民運動推進事業

夏冬の電力需給見通しを踏まえ，節電をはじめ，省エネ・省資源の取組を呼びかける「徳島夏・冬のエコスタイル」を，5月から3月までの期間実施するとともに，県民の節電意識の啓発の観点から，「家族でおでかけ・節電キャンペーン」の呼びかけや「徳島県版サマータイムあわ・なつ時間」の率先的な取組を展開するなど，節電をはじめとする省エネ・省資源に向けた取組を推進するための各種キャンペーンを展開した。

#### 1(4) スマート社会づくり徳島モデル事業

地域一体となった節電・省エネの取組を推進し，行政においては，省エネ効果が高い機器の導入に積極的に取り組むなど，スマート社会づくりに向けた実践的な取組を推進した。

#### 1(5) 広域的かつ先導的なキャンペーンの実施

とくしま環境県民会議，徳島県地球温暖化防止活動推進センターとの協働により，施設や家庭において電灯を消す「ライトダウンキャンペーン」，「ムーンナイトSHIKOKU」の実施や，エコドライブ講習会（JAF徳島支部と共催）を開催した。

併せて，生態系に配慮した潜在自然植生を使った緑化を実施した（200本）。

#### 1(6) 地球温暖化対策のための設備導入の推進

温室効果ガスの削減に資する取組や設備の導入など，地球温暖化対策に積極的に取り組む中小企業者に対し，その取組を加速させるため，低利融資である「自然エネルギー立県とくしま推進資金」の利用促進に努めた。

### 1(7) 県民や企業と協働した森づくり

カーボン・オフセットの仕組みを森林分野においてモデル的に導入し、県民や企業とともに森を支える協働体制を構築するとともに、緑化や森林に対する県民の理解を高める「県民参加の森づくり」活動を実施した。

事業名	事業内容	事業費
とくしま協働の森づくり事業	県民や企業の寄附に基づく森づくりの普及啓発、森林の整備、CO <sub>2</sub> 吸収量証明書の交付	7,821千円
緑化運動推進事業	県民参加の森づくり活動	2,459千円

### 1(8) 森林・林業への参画の推進

県民が森林・林業に対して理解を深め、森づくりや緑化・自然保護活動に参画できる拠点として「県立神山森林公園イルローザの森」と「県立高丸山千年の森」を適切に管理するとともに、ここを拠点に各種普及啓発活動を実施した。

区分		事業費
管理運営	県立神山森林公園イルローザの森	71,280千円
	県立高丸山千年の森	18,144千円

### 1(9) 緑化の推進

#### 緑化推進事業

県南地域に自生する植生（主にどんぐり）を育成し、地元住民と協力して植栽することで、地域自然植生の再生に繋がる環境保全活動を実施した。

### 1(10) 公有林化の推進

地球温暖化対策に資する森林吸収源としての適正な森林管理や、水源のかん養など県民の暮らしに欠かせない公益的機能の維持増進を図るため、市町村の森林取得に対する支援や、県有林化等推進基金を創設し、公有林化施策を進めた。

事業名	事業内容	事業費
とくしま豊かな森づくり推進事業	市町村の森林取得や調査の支援	10,426千円

## 2 オゾン層の保護対策の推進（環境指導課）

### 2(1) フロン回収・処理の推進

「フロン回収破壊法」及び「自動車リサイクル法」に適切に対応するため、第1種フロン類回収業者、自動車リサイクル法フロン類回収業者の登録や登録業者への指導、県民への普及啓発等を行った。

（登録業者数（平成27年3月31日現在））

第1種フロン類回収業者 244件

自動車リサイクル法フロン類回収業者 100件

### 3 酸性降下物対策の推進（環境管理課）

#### 3(1) 酸性降下物（酸性雨等）対策の推進

発生源の立入調査を実施し、酸性降下物の原因となる硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>）、窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）等の排出基準遵守状況を確認するとともに、県内3地点で酸性雨の状況の監視を行った。

### 4 省資源・省エネルギー啓発の推進（環境首都課）

#### 4(1) 実践活動支援のための啓発推進

夏季及び冬季における「夏のエコスタイル」、 「冬のエコスタイル」を展開し、シンポジウムの開催、啓発ポスターや省エネアイデアの募集など、一般県民が関心を持つきっかけづくりを行った。